

報道関係各位

2021年11月16日

## ～推進工法における自動測量システム～

# 「Pipe Shot」レンタル開始

アクティオの ICT で働き方が変わる。働き方を変える。

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下「アクティオ」)は、推進工法<sup>※1</sup>における ICT<sup>※2</sup>自動測量システム「Pipe Shot」(パイプショット)の本格稼働を2021年11月16日(火)から開始いたします。

「Pipe Shot」は、推進工法における ICT を活用した掘削位置管理システムです。従来、トンネル内の長距離や急曲線などを人が測量する場合、測量の盛替え回数が多く累積誤差や測量時間の増加が施工管理の大きな負担となっていました。また、土木現場での作業員の高齢化やヒューム管内での苦渋作業による人手不足は喫緊の課題になっており、現在でも深刻な状況が続いています。

今回の「Pipe Shot」は、立坑の基準点、ヒューム管内の中間点にアクティオでカスタマイズした専用測量機を設置、掘削機の先端には目標物となるマシンターゲットを取り付けることで測量が可能になり、タブレット PC やスマートフォンに連携することで、誰でも速やかに高精度な測量を行うことが出来るようになります。また、管内の IoT-BOX 付近ではインターネットに接続が可能のため、カメラ画像の送信や音声通話を簡単に行うことができます。

アクティオは今後も「レンサルティング」のノウハウを活かし、生産性や品質を向上させる製品やサービスを提供していきます。

※1 推進工法:掘削機械で地中を掘り進め、目的地まで下水道管などのパイプを埋設する工法

※2 ICT:情報通信技術



【トータルステーション】



【測量機】



【屋外実験の様子①】

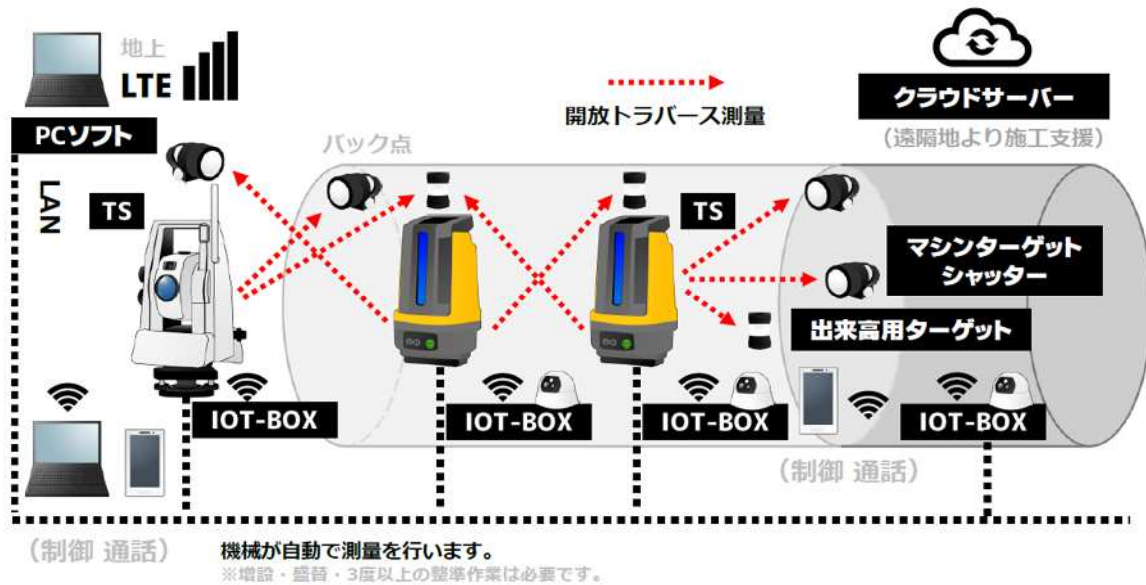


【屋外実験の様子②】



【屋外実験の様子③】

■「Pipe Shot」使用イメージ



■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

【画像素材 DL リンク】<https://www.pr-today.net/a00294> パスワード:aktio

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、松本

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6854-1436 e-mail:koho@aktio.co.jp